

2019年8月28日

各位

会社名 株式会社日本エム・ディ・エム  
代表者名 代表取締役社長 大川 正 男  
(コード番号 7600 東証一部)  
問合せ先 IR部 棟 近 信 司  
(03-3341-6705)

## 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正 に関するお知らせ

2019年4月26日に公表した2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	8,200	820	780	520	19.70
今回修正予想(B)	8,650	1,170	1,130	800	30.30
増減額(B-A)	450	350	350	280	
増減率(%)	5.5	42.7	44.9	53.8	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期第2四半期)	7,551	859	831	594	22.53

#### 2. 修正の理由

売上高は、日本国内及び米国ともに計画を上回り伸長し、前回発表予想を上回る見込みです。日本国内では、米国子会社 Ortho Development Corporation 社製(以下、「ODEV 社製」という)人工股関節製品「OVATION HIP システム」及び骨接合材料分野製品「Prima Hip Screw システム」が計画を上回り伸長し、更に脊椎固定器具分野において「KMC Kyphoplasty システム」の売上が計画を上回り伸長しており、また、米国においても、ODEV 社製人工膝関節新製品「BKS Revision Cones 及び Sleeves」の導入効果により人工膝関節製品の売上が計画を上回り伸長しております。当該売上高が好調に推移していることから、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する四半期純利益は、前回発表予想を上回る見込みです。

なお、2019年4月26日に開示しました2020年3月期通期の連結業績予想数値に変更はありません。今後修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

※ 上記に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上